

刊日三十二月二



平日日誌... 毎月二十五日... 発行所 新報社... 印刷所 新報社... 電話 新報社...

常識講座

プロセスは進行とか過... 程とか経過又は手続... 仕方の謂であつてプロ...

町村農會總改選

愈々目前に迫る

各町村も激戦の豫想 郡農會長は諸橋氏再選か

四月一日を期して全郡一齊に農會の會長以下役員を選挙し執行される町村農會議員の總改選を前にして郡内各町村と...

石城の炭礦労働者

總數一萬一千二百

平署管下の十七炭礦だけで 男九〇五七女一六〇七

平署管下最近の調査による炭礦労働者は大小十七礦を合せ左記の如く磐城の四千三百...

新縣令の違反者は 徹底的に懲罰

横山署長の嚴重な訓示に 飲食店主等大恐慌

去る一月一日から實施された新縣令により従來酌婦水仕の最低年齢は十四才であつたも...

鮪漁は皆無

磐城丸の漁場調査報告

各濱當業者悲觀

初春早々鮪の大漁續きで有卦に入つてゐる磐城丸は愈々...

匡救工事打切に 悩む郡内の諸村

應急救済を要望

水産試験場磐城丸から潮流との悲觀無電があり期待され...

若い男女の駈落

妊娠したのが親が許さず 結婚出来ないのを悲觀し

茨城縣多賀郡大津町今井武一 二女ハツエ(むさ)さんと戀仲に...

名士の癖を描く

（鈴木辰三郎氏の巻）

地方政界最後の標的だが、前政友會本縣支部幹事...

釜戸の 奴祭り

今年が七年目

奴行列！の珍行事を以て全國民の名を知られる渡邊村大字...

合創立の準備

平町町の慶福街を始め俗に酪酒屋と言はれる酌婦水仕を...

豫算町會

二十五日招集

此の人と對談した人は一日で指につまんで火鉢の上に嘯し...

地方政界最後の標的だが、前政友會本縣支部幹事...

福神漬

農林省福神漬農務師

材料の刻み方

澤庵大根は繊維を縦に厚さ一分位に切る、大きな澤庵は二つ乃至四つ割にすること、茄子は二つ割、厚さ一分強、瓜は厚さ一分程度、二つ割、小さなものはそのまま、薑は香辛料に用ふるもので厚さは二、三厘に切る、茄子の四分の一の厚さ、大きさは二つ割乃至三つ割にする、

それを袋に入れて、板に挟んで汁を搾るのである、その割合は、澤庵は半分以上、六割の水を搾りとる、茄子は半分から、半分強、薑は三割位の水をとる、瓜、澤庵は壓搾器にかけ、なすは水の重さで取る、水分が搾れたならば、袋から取り出すのであるが、その際袋の口をとり倒さずに上下にパラ〜に振って塊りをほぐし袋に取り出すのである、取出してから、かたまりをほぐすより樂である、取り出したならば半切、薄等に切り分け、此の時、各材料を別々に袋に入れて置き、各材料を一層毎に振り混ぜ、丁度肥料を配合する要領でよく混合するのである、よく混合したならば、今度は鹽或は糠などに漬け込む、器物に投入、醬油を以て下漬けするのである、下漬けに用ふる醬油も、高級品は矢張り高級な醬油を用ひ、下級品は人造醬油を用ひて造るのが常である、而して用ふる醬油は沸騰せぬ程度、即ち攝氏の八〇度位の温度であらうめ之れを冷まし

て材料の上からかけるのである、漬け終りたるときは瓶には口を包んで置く、下漬け期間は温度の高い時は二日乃至三日で、低い時は七日乃至十日間を要するものである、下漬けが定まれば最後の本漬け仕上げ漬けにかゝるのである、その方法は醬油の汁に濃厚な調味料、香辛料を入れて作るのである、

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は **平田町 田町**

正	正	正	る	食	し
しい	しい	しい	る	事	づ
い	い	い	る	の	か
酒	喫	食	出	来	
場	茶	堂			

平田町
レストラン
サロン
電話三五二

石炭
コークス
豆炭
水野石炭店
電話二九九番

新装 カクニ石炭 發賣

品質優秀 価格低廉
大衆本位 主眼ト
シテ生レタ弊店自
慢ノ石炭デス.....
是非御愛用ヲ.....

ツルヤ 電話一四〇

目科療診
一、齒科 一般
一、口腔外科
一、レントゲン科

院長 日本齒科 醫學士 中野 忠 次
副院長 日本齒科 醫學士 西 川 誠
平田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

中野齒科醫院

婦人科 長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内 木 宗 八
藥局 藥劑師 立 蕃 彌 一

平田町新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番

鼻の諸病に快鼻湯 有効保証

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發せし方々も本劑の服用により快癒された喜びの證狀が各地から參つて居ります

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く

製劑販賣元 水野藥局
磐城平町一丁目(電話六九九番)
振替口座仙台(八八七六番)

煙突は 朝日

朝日煙突

金屋商店

マケネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい

「治験代」は當分一回三十錢として居りますすが御家庭の事情により割引も施されます

嘘か實か百問一見御試し下さい

治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九)
日没後は一丁目自宅(電話四七〇)

飯田近治 治療士

新時代の要求 附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平田町 看護婦會
會長 清野キヨ

御手不足の御家庭 輕い御病人の付添妊婦 産婦の御家庭

經濟的御便宜ご用命をお願致升

一設印刷物も御引受致します

新しいわき新聞社

帝國海上火災保險株式會社

代理店 關内正一
平田二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

正確 一體溫計
なる 寒暖計 (各)

計量器指定販賣

平田五丁目 山野邊藥局

安田系統の帝國海上

新設、電話二二二番
何卒御利用の程を

平田結屋町一

上原家政婦會
(産婆) 上原 子

手賃車 新規物を格安にお譲り致します

平田大町若松醫院